



特集

えひめ国体リハーサル大会

ようこそ愛南へ 地域一体でおもてなし

10月22日(土曜日)～26日(水曜日)まで、5日間にわたって県内5市町7会場で「えひめ国体サッカー競技」のリハーサル大会となる「第52回全国社会人サッカー選手権大会」が開催されました。

愛南町ではあけぼのグラウンドで、22日(土曜日)、23日(日曜日)の2日間で3試合が開催されました。両日とも雨の中での試合となりましたが、各地域の代表として勝ち上がってきたチーム同士、激しい試合を繰り広げました。

「えひめ国体サッカー競技」のリハーサル大会として行われた今大会。開催地として、たくさん地元スタッフが競技運営や会場づくり、選手のおもてなしに奔走し、地域が一体となって大会を盛り上げました。ボラ

ンティアスタッフとして会場づくりに参加した南宇和高校女子サッカー部の横山愛唯さん(2年生)は「来年もここで開催されるので楽しみ。運営のお手伝いをしたり、試合を見て勉強したい」と笑顔で話しました。



空中で激しく競り合う高知ユナイテッド SC と三菱水島 FC の選手。高知ユナイテッド SC のヘディングシュートが決まり、3-4 で敗れはしたものの大会を制した三菱水島 FC を苦しめました。



試合前、審判と綿密な打ち合わせをする南宇和高校のサッカー部員。降りしきる雨の中、ボールパーソンを務め、スムーズに試合が進行するよう裏方として支えました。



愛南町グリーン・ツーリズム推進協議会のみなさん。温かい食事と素敵な笑顔で選手、運営スタッフをもてなしました。



勝利インタビューを受けるアンデンティみらい(茨城)の選手。選手の活躍や大会を支えるスタッフの様子は、愛媛CATV愛南局と愛南リポーターズによって撮影されました。



得点を決めて喜ぶアンデンティみらい(茨城)の選手。この1点を守り切って富山新庄クラブを下し、2回戦に進みました。

試合前のセレモニーでエスコートキッズを務めた平城SCの子どもたち。初めての経験にとまどいながらも大役を務めました。

